

次の問題をよく読んで、正しいと思うものには「正」を、誤りと思うものには「誤」を、それぞれ答えなさい。ただし、問91~95のイラスト問題については、(1)~(3)のすべてに正解しないと得点にはなりません。

1
回

- 問1 こう配の急な下り坂は、追い越しは禁止されているが、駐車と停車は禁止されていない。
 問2 夜間、対向車の前照灯がまぶしいときは、視線をやや左前方に移し、幻惑されるのを防ぐ。
 問3 車両通行帯のあるトンネルの中で、他の自動車や原動機付自転車を追い越した。
 問4 図1の標識のある交差点では、原動機付自転車は右折してはならない。
 問5 四輪車の運転者は、二輪車を見たとき、距離は実際より近く、速度は実際より速く判断しやすい。
 問6 自動車の制動距離は、速度が2倍になると約4倍になる。
 問7 交差点で灯火を横に振っている警察官に対面したときは、車はその灯火が振られている方向へは進行することができる。
 問8 右折や左折をする場合は、手で合図をすることができる。
 問9 車を運転するときは、一点だけに長く気をとられることなく、全体に広く等しく注意を払うようとする。
 問10 交差点で右折するときは、右折しようとする約3秒手前の地点で合図をしなければならない。
 問11 図2の標識は「車両進入禁止」を表し、こちら側からは進入できない。
 問12 遠心力は、カーブがきつくなればなるほど大きくなる。
 問13 走行中、ルームライトは、バス以外の車はつけないようにする。
 問14 見通しのきかない曲がり角を通行するときは、警音器を鳴らして、そのままの速度で進行する。
 問15 乗車定員6人の普通乗用自動車には、8歳の子どもを7人乗せて運転することができる。
 問16 駐停車禁止の場所では、危険防止のためであっても、車を停止させてはならない。
 問17 乗客の乗り降りのため停車中の路面電車に追いついた場合でも、安全地帯があるときは、徐行できる。
 問18 図3の標示は、「転回禁止区間の終わり」を表している。



図1



- 問19 自動車が一方通行路で右折するときは、あらかじめ道路の中央に寄って、交差点の中心のすぐ内側を徐行しなければならない。
 問20 原動機付自転車は、強制保険に加入しなくてもよい。
 問21 普通貨物自動車に荷物を積むときの高さの制限は、すべて地上から3.8メートルまでである。
 問22 車の速度が速いほど、近くのものがよく見え、遠くのものはぼやけて見えにくくなる。
 問23 普通自動車の免許証を紛失して、再交付を受けないで原動機付自転車を運転すると、無免許運転になる。
 問24 運転中、交通事故を起こしても、軽微な物損事故で相手方と話し合いがつけば、警察官に報告しなくともよい。



図2



- 問25 図4の標識のある通行帯であっても、小型特殊自動車、原動機付自転車、軽車両は通行できる。
 問26 右折や左折の途中で方向指示器が戻ってしまったときは、すぐに出し直さなければならない。
 問27 夜間、交通量の多い市街地の道路などでは、街路灯がついていればライトをつけないで走行してもよい。



図3



- 問28 信号機が赤でも、青色の矢印が出ているときは、自動車は、標示された各方向に直進・左折・右折ができる。
 問29 マニュアル車で踏切を通過するときは、ローギアで発進し、すばやく加速チェンジをして、一気に通過する。
 問30 故障車をロープで引けるとき、ロープの見やすい箇所に0.3メートル平方の白い布をつけた。
 問31 リザーバータンクを備えた車の冷却水の点検は、リザーバータンク内の水量を見て、減っているときは補充する。
 問32 図5の標識のある通行帯を通行している車は、左折以外はできない。
 問33 車を車庫や駐車場に入れるため、歩道や路側帯を横切るときは、歩行者が通行していなくても、必ず一時停止しなければならない。



図4



- 問34 車両通行帯のない道路の交差点で、青色の灯火の右矢印が表示されたときは、自動車も原動機付自転車も右折できる。
 問35 交通量が少ないときは、車両通行帯が黄色の線で区画されていても、いつでも進路を変えることができる。
 問36 走行中に携帯電話を使用すると、周囲の交通の状況に対する注意が不十分になるので使用してはいけない。
 問37 交通が混雑していて、自転車横断帯の上で停止するおそれがあったが、自転車が通行していなかったので進行した。



図5

問38 傷病者救護のため、やむを得ず駐車する場合、運転者が車から離れてもただちに運転できるときは、車の右側の道路上に3.5メートル以上の余地を残さなくてもよい。



図6

問39 図6の標識は、前方の道路に凹凸があることを警告している。

問40 交差点の手前で青色の信号が見えたときは、加速して信号が変わらないうちに通過する。

問41 左側部分の幅が6メートル以上ある道路では、右側部分にはみ出して追い越すことはできない。

問42 交差点内を進行中、緊急自動車が接近してきたので、ただちに交差点を出て左端に寄り、一時停止して進路を譲った。

問43 身体障害者が車いすで通行していたので、警音器を鳴らして注意を促し、その通行を停止させて進行した。

問44 普通乗用自動車は、車両通行帯のない道路では、道路の中央寄りを通行しなければならない。

問45 冬の寒い日にエンジンを始動するときは、アクセルをいっぱいに踏み込み、高速回転でエンジンを早く温めるとよい。

問46 図7の標識は、「自転車横断帯」を表している。



図7

問47 マフラー（消音機）が詰まったので、燃焼ガスの排出をよくするため、マフラーの一部を切断した。

問48 前方の信号機が黄色に変わった場合、急ブレーキをかけても停止線で停止できないときは、そのまま進行することができる。

問49 近くに交差点のない道路を通行中、後方から緊急自動車が接近してきたので、徐行してそのまま進行した。

問50 急な下り坂を通行するときは、エンジンブレーキを主とし、フットブレーキは補助的に使用する。

問51 安全運転のためには、ブレーキをかけるよりも先に、まずハンドルでかわすことである。

問52 雷雨のために前方50メートル先が見えないほど暗くなったときは、昼間でも前照灯やその他の灯火をつけなければならない。

問53 図8の標示板のある交差点では、信号機が黄色や赤色であっても、歩行者や他の交通に注意して左折できる。



図8

問54 ファンベルトが切れても、エンジンが過熱することはない。

問55 貨物自動車のからの荷台に人を乗せて運転するときは、警察署長の許可を受けなければならない。

問56 ハンドルやブレーキが調整されていない車でも、高速走行しなければ運転してよい。

問57 車の速度を2倍にすると、衝突したときの衝撃力も2倍になる。

問58 マフラー（消音機）から出る煙の色が無色か淡青色のときは、エンジン内部での燃料の燃焼状態は良好である。

問59 乗用自動車の運転者は、座席に荷物を積んで運転してはならない。

問60 図9の標示のあるところで、荷物の積み下ろしを5分以内で行った。



図9

問61 前方の自動二輪車が大型自動車を追い越そうとしているときは、その自動二輪車を追い越してはならない。

問62 エンジンブレーキは、平地で活用しても制動距離には関係がない。

問63 運転者は、「酒を飲んだら運転しない」「乗るなら飲まない」という習慣を身につけることが大切である。

問64 右手で右折の合図をするときは、右腕を車体の外に出して水平に伸ばせばよい。

問65 ブレーキペダルを踏み込んだとき、スポンジを踏んだような柔らかい感じがするときは、ブレーキの効きは良好である。

問66 図10の標識のある道路では、大型貨物自動車と特定中型貨物自動車、大型特殊自動車は通行してはいけない。

問67 消火栓から3メートル離れた道路で荷物の積み下ろしをする場合、運転者が車から離れないときは、5分を超えて停止できる。

問68 踏切を通行しようとするとき、列車が通過した直後ならば、警報機が鳴っていても進行することができる。

問69 自動二輪車が普通自動車を追い越そうとするときは、その左側を通行しなければならない。

問70 水溜りを通行してブレーキ装置が水で濡れると、ブレーキの効きはよくなる。

問71 大型特殊免許では、大型自動車を運転することはできない。

問72 故障車をけん引する場合は、どのような方法でけん引するときでも、故障車には免許所有者を乗せなければならない。

問73 エンジンオイルの量は、エンジンを始動してからオイルレベルゲージ（油量計）を見て点検する。



図10

問74 図11の標識は、「車線数減少」を表している。



図11

問75 大型自動車の特に定めがない一般道路における法定最高速度は、60キロメートル毎時である。

問76 路線バスの運行が終了したので、バスの停留所から10メートル以内の場所に車を止め、友人を降ろした。

問77 横断歩道や自転車横断帯とその手前30メートル以内の場所では、追い越しは禁止されているが、追い抜きは禁止されていない。

問78 運転中、危険な状態に近づいた場合、速度が速ければ速いほど危険は避けやすくなる。

問79 高速道路でのハンドル操作は、一般道路の4分の1、時計の針で5分ぐらいの角度（約30度）が限度である。

問80 自動車専用の本線車道で、景色の写真を撮るために駐車した。

問81 図12の標識をつけた車に対しては、追い越しや追い抜きが禁止されている。

問82 運転者が危険を感じて急ブレーキをかけても、ブレーキが効き始めるまでには1秒ぐらいの時間がかかるので、速度が速いと避けられない。

問83 普通自動車を運転して、交通整理の行われていない道幅のほぼ同じ交差点に入ろうとしたところ、左方から大型貨物自動車が進行してきたが、それに優先して進行した。

問84 普通自動車の仮免許を受けた者が、練習のため普通自動車を1人で運転した。

問85 車の運転者は、危険を防止するためやむを得ないときを除き、急ブレーキをかけるような運転をしてはならない。

問86 ブレーキが効き始めてから停止するまでの距離を、「停止距離」という。

問87 車体の長さが7メートルの貨物自動車が、車体の後端から後方に0.7メートルはみ出して木材を積んで運搬した。

問88 図13の標識のある道路は、自動車の通行が認められているが、路面電車が近づいてきたときは、軌道敷外に出るか、十分な距離を保たなければならぬ。

問89 運転者は、車の前後に人がいないか、車の下に子どもがいないかなど、周囲の安全を確かめてから乗車する。

問90 高速自動車国道を80キロメートル毎時で走行するときは、前車との車間距離を80メートル以上とる。

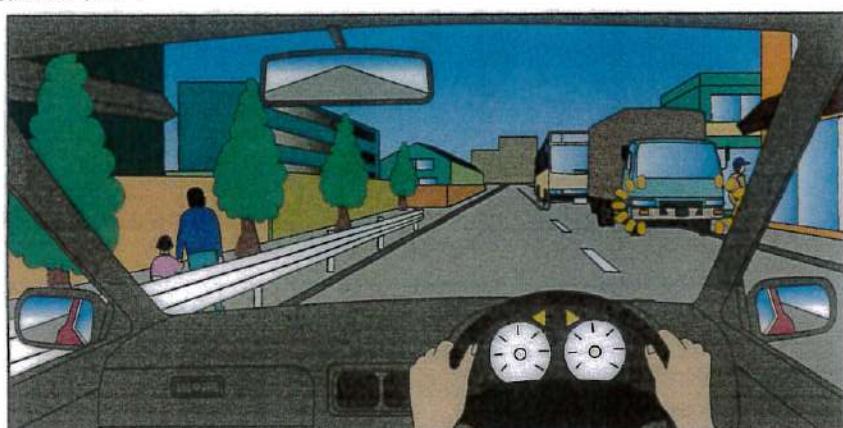
問91 40キロメートル毎時で進行しています。前方の止まっている車の後ろからバスが近づいてくるときは、どのように注意して運転しますか？



図12

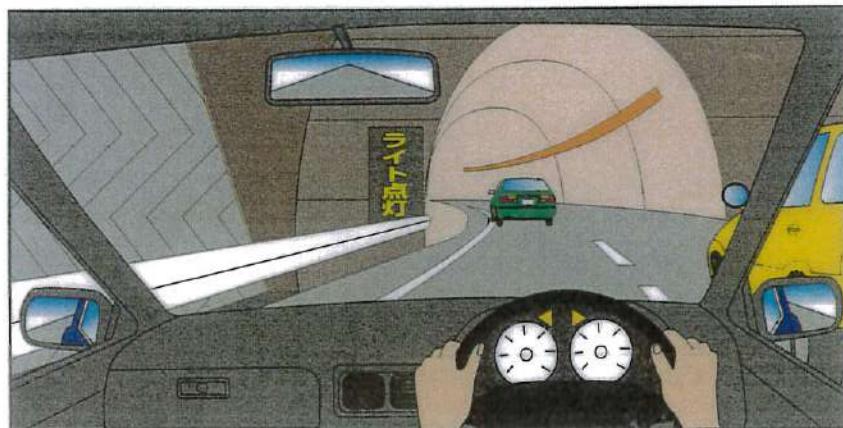


図13



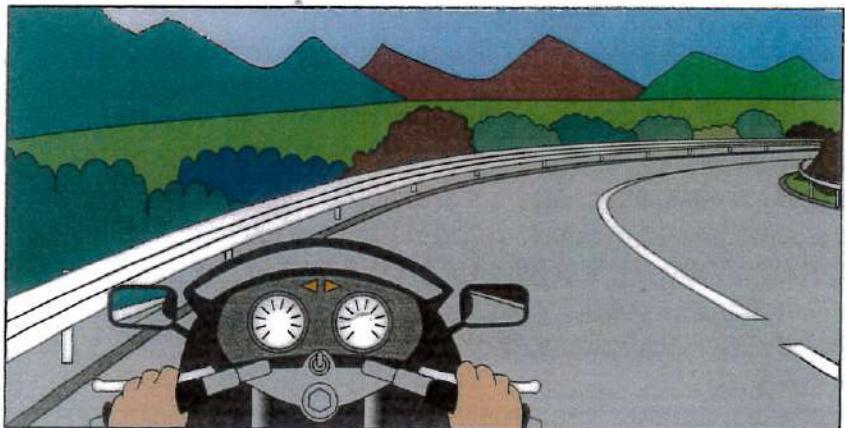
- (1) バスが中央線をはみ出してくれるかもしれないで、はみ出してこないように中央線によって進行する。
- (2) バスは旅客の安全を考え無理な運転をせずに自分の車を先に通過させると思われるで、待たせないように加速して通過する。
- (3) 止まっている車のかけから歩行者が出てくるかもしれないで、車のかけのようすやバスの動きに気をつけながら減速して通過する。

問92 高速道路を80キロメートル毎時で進行しています。トンネルに入るときは、どのようなことに注意して運転しますか？



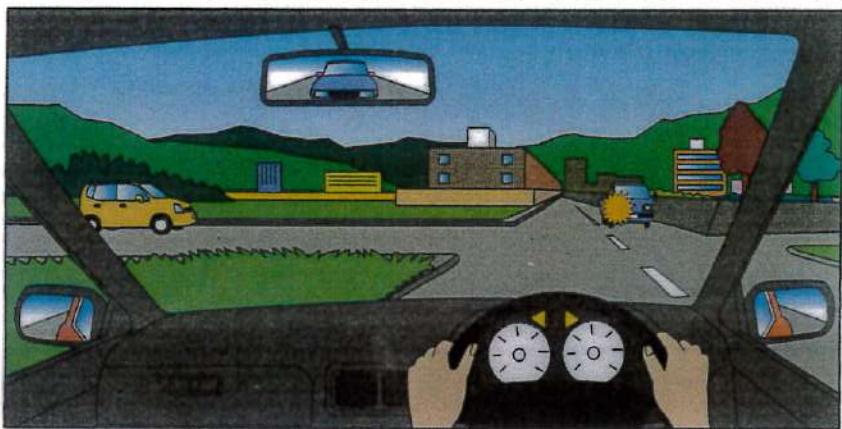
- (1) 前の車が急に速度を落とすかもしれないで、車間距離を十分にとる。
- (2) 高速でトンネルに入ると、視力が急激に低下するので、あらかじめ手前で速度を落として進行する。
- (3) 高速でトンネルに入ると、視力が急激に低下するので、加速して前車との車間距離をつめる。

間93 50キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



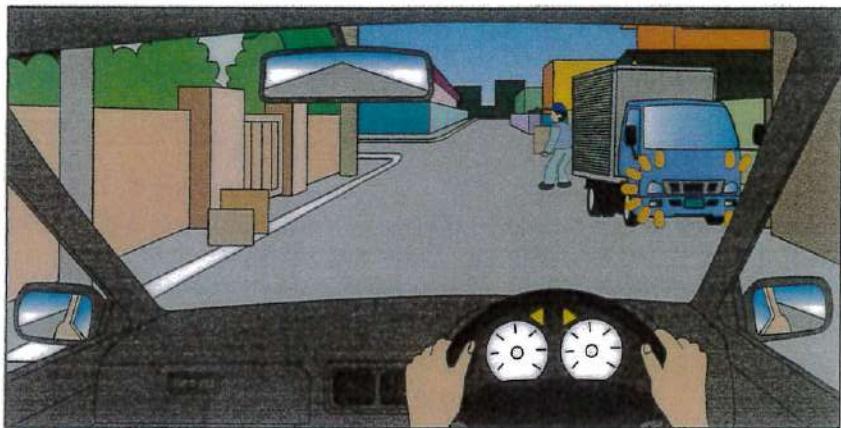
- (1) この先ではカーブが急になって曲がり切れず、ガードレールに衝突するおそれもあるので、速度を落として進行する。
- (2) 対向車が来るようすがないので、このままの速度でカーブに入り、カーブの後半で一気に加速して進行する。
- (3) 対向車が中央線を越えて進行してくるかもしれない、速度を落として車線の左側に寄って進行する。

間94 40キロメートル毎時で進行しています。交差点を直進するときは、どのようなことに注意して運転しますか？



- (1) 対向車が止まらずに先に右折を始めたり、左側の車が止まらずに交差点に入ってくるかもしれないので、両方の車の動きに気をつけながら進行する。
- (2) 左側の車は対向車の右折の合図を見てそのまま交差点を通過しようとするかもしれないので、後続車にも注意しながらアクセルをゆるめて進行する。
- (3) 左側の車は優先道路を走っている自分の車を先に通過させると思われる所以、やや加速して進行する。

間95 40キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



- (1) トラックの後ろの人は自分の車を待ってくれるので、加速して進行する。
- (2) 左側の門から荷物を取りに出てくる人がいるかもしれないので、いつでも止まれるような速度でトラックの側方を通過する。
- (3) 警音器を鳴らして、通過すれば安全である。